

# YRPP NEWS

2004年 初秋号 No.32

## 第6回 YRP 移動体通信 産学官交流シンポジウム 2004 開催

産学官のマッチングの場を提供することを目的とした「第6回 YRP 移動体通信産学官交流シンポジウム2004」が、YRP 研究開発推進協会、YRP アカデミア交流ネットワーク及び独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) の主催により、7月7日及び8日、横須賀リサーチパーク (YRP) にて開催されました。

テクニカルセッションでは44件、アカデミア交流セッション (研究室紹介) では11件の発表があり、ベンチャーセッションでは8社から新事業・新技術が発表されました。また、ポスターセッションでは8大学から研究状況・研究室の紹介がなされ、さらに企業7社から新事業・新技術の紹介が展示も含めて行われました。

本シンポジウムでは、はじめに YRP 研究開

発推進協会 羽鳥光俊名誉会長による主催者挨拶に引き続き、総務省大臣官房技術総括審議官 鬼頭達男様及び横須賀市副市長 蒲谷亮一様からご来賓挨拶をいただきました。その後に (株)NTT ドコモ シニアアドバイザー 大星公二様から「産学官知的クラスターの日本経済へのインパクト」、日本放送協会 理事 橋本元一様から「モバイル社会における放送の新しいサービス～地上デジタル放送の移動体向けサービス～」の特別講演が行われました。

更に特別セッション (講演) として、東北大学教授 IT-21 センター長 坪内和夫様から「IT デバイス技術戦略・ユビキタスネットワークの実現に向けて」、独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 横須賀無線通信研究センター セ



総務省大臣官房技術総括審議官 鬼頭達男様による来賓ご挨拶

ンター長 若菜弘充様から「未来社会を創る NICT の研究開発」、(株)キャンパスクリエイト代表取締役社長 安田耕平様から「コラボ産学官について」、上智大学教授 服部武様から「日本学術会議モバイル・グローバル通信専門委員会の活動状況と次世代移動通信研究開発への期待と課題」の発表が行われました。

また、各分野で活躍中のパネリストによりパネルディスカッション「YRPにおける産学官連携とベンチャー支援」(コーディネーター: 慶應義塾大学教授 中川正雄様) が行われました。2日間を通し、約800名の参加がありました。

### 第3回 YRP アワード受賞者

#### 【YRP賞】

- 『Exploring over-100-GHz Technology for 10-G bit/s Wireless Link』 (TSMW2004)  
牧田 明彦様 (日本電信電話 (株))  
小杉 敏彦様 (日本電信電話 (株))  
原田 充様 (日本電信電話 (株))  
伊藤 弘様 (日本電信電話 (株))  
柴田 随道様 (日本電信電話 (株))  
永妻 忠夫様 (日本電信電話 (株))

- 『Decentralized Micro-Mobility Management for Large-scale Mobile Networks』 (WPMC2003)  
横田 英俊様 (株) KDDI 研究所  
久保 健様 (株) KDDI 研究所  
井戸上 彰様 (株) KDDI 研究所  
井上 真杉様 (独立行政法人 情報通信研究機構)  
カレド マハムド (Khaled Mahmud) 様  
(独立行政法人 情報通信研究機構)

- 『Millimeter-Wave Ad Hoc Wireless Access System - (5)mm-wave Antenna with Built-in Filter -』 (TSMW2004)  
西 清次様 (沖電気工業 (株))  
ウー ホクホア (Ou Hok Huor) 様  
(沖電気工業 (株))  
浜口 清様 (独立行政法人 情報通信研究機構)  
荘司 洋三様 (独立行政法人 情報通信研究機構)  
小川 博世様 (独立行政法人 情報通信研究機構)

#### 【YRP奨励賞】

- 『Proposal of Capacity Controlled MIMO Link Adaptation Technique』 (WPMC2003)  
衣斐 信介様 (大阪大学)

- 『Interference Reduction Study for UWB Radio』 (WPMC2003)  
大野 光平様 (明治大学 (論文発表時))

## 第3回 YRP アワード表彰式

YRP では一昨年、YRP オープン5周年を機に、更なる研究活動の向上を目指し、この地に集う研究者の目標となり得る表彰制度として YRP アワードを創設しました。3回目となる今回は、2003 年度中に YRP に関する研究集会、セミナー等で発表された約200件の論文が対象となり、YRP アワード委員会による審査の結果、5件の表彰論文が決定しました。

産学官交流シンポジウムにあわせて執り行われた表彰式では、YRP アワード委員会会長である早稲田大学教授 安田靖彦様の講評に続き、YRP 研究開発推進協会 羽鳥光俊名誉会長より賞状及び副賞が授与されました。

受賞者は左表の通りです。

表彰式の様子



YRP アワード委員会会長 早稲田大学教授による講評 安田靖彦



## 中国信息产业部王旭東大臣 御一行様 YRP ご視察

7月28日、中国信息产业部 王旭東大臣が札幌での日中韓情報通信大臣会合終了後、YRPを視察されました。YRP側からは、YRP研究開発推進協会 豊昭男会長、横須賀市 沢田秀男市長、独立行政法人情報通信研究機構 寺崎明理事等が対応されました。御一行は、情報通信研究機構、(株)NTTドコモ及びパナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)において、研究開発状況をご見学されました。今後、日中間でのIT研究開発分野連携がますます期待されます。



中国信息产业部王旭東大臣御一行様

## 中国杭州市信息产业代表团 YRP ご視察

本年4月にYRPと技術交流の覚書(MOU)を取り交わした中国・杭州市から、7月27日、金副市長を団長とする13名の「杭州市信息产业代表团」が来日し、YRPを視察されました。日本とのIT産業経済協力促進を目的とした代表团は、視察後、日・中移動体通信技術フォーラムの会員とのIT産業推進交流会において意見交換を行いました。



中国杭州市信息产业代表团

## 田端総務副大臣 YRP ご視察

5月10日、総務副大臣 田端正広様がYRPをご視察されました。YRP研究開発推進協会 豊昭男会長からYRP全体の説明が行われました。その後情報通信研究機構及び(株)NTTドコモR&Dセンターをご視察され、それぞれで行われている最新の研究開発状況について説明を受けられました。



田端総務副大臣のご視察

# MOU

YRP研究開発推進協会及び(株)横須賀テレコムリサーチパークは、国内外の研究機関等と研究交流覚書(MOU)を締結しています。最近の締結状況をお知らせします。

### (株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)とのMOU締結

6月1日、(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)との間でMOUを締結しました。YRPとATRは国際的且つ先進的な産学連携を目指すという共通目標を持つことから、互いの事業推進に役立てるために、研究開発や産学官連携事業等の情報交流を中心に取り組もうということになりました。これで国内のMOU締結機関は7件となりました。

### ベトナム郵政電気通信研究所(PTIT)とのMOU締結

6月1日、ベトナム郵政公社の研究機関であるベトナム郵政電気通信研究所(Posts and Telecommunications Institute of Technology:PTIT)と、アジア移動体通信ワークショップ(AP-NeGeMo)の実施と情報交流に関するMOUを締結しました。

### 韓国・光州テクノパークとのMOU締結

7月13日、韓国・光州市に所在する光州テクノパーク(Gwangju Techno Park:GJTP)とMOUを締結しました。締結式には、韓国・光州市の副市長 Byung-Hwa Lee様とGJTPのCEO James. G. Moon様が来訪されました。GJTPはベンチャー育成の活発な同地域の5大学とのつながりが深く、今後このMOUを通じ韓国ベンチャーとの交流が期待されます。

# 第一回次世代ワイヤレス技術展



YRP パビリオンにおける大学研究室及びベンチャーの開発技術の紹介

7月21日から7月23日まで、東京ビックサイトにおいて第1回次世代ワイヤレス技術展が(株)リックテレコム、E.J. クラウス&アソシエート社及びYRP 研究開発推進協会の主催により開催されました。これは、日本最大のワイヤレス専門展示会「ワイヤレスジャパン2004」と同時開催されました。YRP 研究開発推進協会は、独立行政法人情報通信研究機構・(株)横須賀テレコムリサーチパーク・京浜急行電鉄(株)等会員の協力を得て、YRPの活動状況について出展しました。

YRPブースは来場者で通路をふさぐほどの混雑となり、次世代ワイヤレス技術に対する関心の高さがうかがえました。

ワイヤレスジャパン2004及び次世代ワイヤレス技術展には、約33,000名の来場者がありました。

初日、YRPでは産学官連携「救急医療における高速画像伝送実験デモンストレーション」を

実施しました。これは、「患者の病状やけがの状態を画像で救急車から無線で病院に配信し、初期治療に役立てる」をテーマに、救急医療における高速映像データ伝送を実現する無線技術のデモンストレーションです。最先端の無線技術を搭載した救急車(横須賀市)を使用し、救急救命士(横須賀市)が患者の容態・病状、医師が心電図やエコーの映像データを無線環境で転送し、200インチスクリーンヘリアルタイムで映し出しました。同時開催の「ワイヤレスジャパン2004」の来場者も含め、来場者の皆様には大きな反響があり、ご意見やご質問をいただきました。



YRPブース前で説明に耳を傾ける見学者の方々



救急医療における高速画像伝送実験デモンストレーション

《参考：今回の「救急医療における高速画像伝送実験デモンストレーション」に協力・参加した団体等・順不同》

独立行政法人情報通信研究機構

横須賀市

横浜市立大学医学部

AVIX(株)

NTTコミュニケーションズ(株)

沖電気工業(株)

(株)協和エクシオ

(株)ニッポン放送プロジェクト

(株)野村総合研究所

パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)

富士通(株)

(株)フクダ電子

YRP 研究開発推進協会



## ● ● ● インド・ソフトウェア開発能力活用 セミナー開催

7月13日、「インド・ソフトウェア開発能力活用セミナー」がYRP研究開発推進協会の主催により開催されました。インド大使館参事官 Dr. V. Shanker 様のご挨拶後、ジェネシス(株)代表取締役 西山征夫様から「インドのソフトウェア開発能力の利用について」の講演が行われ、続いて、アクメテクノロジーズ社及びデカネットデザインズ社による各社の業務紹介、(株)沖テクノコラージュ 常務取締役 高田淑朗様による「インドソフ

ト利用のサクセスストーリー紹介」が行われ、インドにおける最新のソフトウェア開発状況が会員に紹介されました。



挨拶されるインド大使館参事官  
Dr. V. Shanker 様

## ● ● ● 日・中移動体通信技術フォーラム 第6回訪中団報告

7月3日、重慶郵電大学において「中日3G技術交流セミナー」が開催されました。当セミナーは第5回訪中団が今年3月に訪問した大唐電信(日・中フォーラム顧問社)より、3Gサービスをより一層

深めるために、日中間において3G各方式技術の研究開発及び3Gオペレーティングの現状と展望についての交流を行いたいと、当フォーラムに協力要請があったことから実現しました。



## ● ● ● 第4回 ITS 情報通信国際ワーク ショップ(ITST2004)の開催

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)及びYRP研究開発推進協会が主催する第4回ITS情報通信国際ワークショップ(ITST2004)が7月8日及び9日にシンガポールにて開催

されました。現地の情報通信研究所(Institute for Infocomm Research: IIR)との共催です。招待・一般講演、企業等による展示、シンガポールITS技術開発の見学ツアー等、内容はいずれも好評でした。今回はフランス・プレストにて、2005年6月27日及び28日に開催予定です。



オープニングセッション

## ● ● ● 超広帯域無線(UWB)に関する 国際会議の開催

5月18日から21日まで、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)、YRP研究開発推進協会及び横浜国立大学COEプログラムの共催により、超広帯域無線(UWB)技術に関する国際会議 JOINT UWBST & IWUWBS 2004がグランヴィアホテル京都で開催されました。初日はウェルカムレセプション、2日目以降は開会式に続いて研究論文発表を行う技術セッション及び展示が行われました。開会式ではNICT 長尾理事長、

YRP研究開発推進協会 大森副会長(NICT執行役)、NICT河野UWB結集型特別グループリーダー(横浜国立大学教授)が挨拶及び講演を行いました。参加登録者は17ヶ国から236名(うち海外99名)、発表論文数は86件にのぼり、世界からの注目を集めました。次回は2005年9月、スイスにて開催予定です。

平成16年度情報通信月間参加行事

## ● ● ● Beyond 3Gに関する国際会議 (ICB3G-2004)の開催

世界無線通信会議(WRC-2007)に向けて、IMT-2000の後継システムに関する検討が世界的に加速することが予想されている状況にあります。そのため、主要国のエキスパートを一堂に会して、IMT-2000の後継システム即ちBeyond 3Gの移動通信に関するビジョン、サービス、技術ならびに標準化して将来への期待等について議論することにより、Be-

yond 3G移動通信システムの研究開発及び標準化活動の推進に資することを目的として、「Beyond 3Gに関する国際会議」が、総務省、独立行政法人情報通信研究機構及びICB3G-2004組織委員会の主催により、5月26日及び27日に東京で開催され、



390名の参加がありました。YRP研究開発推進協会は後援をしました。

## ● 第2回 YRP ユビキタス通信テストベッド ● 活用実験・研究フォーラム 運営委員会の開催

第2回 YRP ユビキタス通信テストベッド活用実験・研究フォーラムの運営委員会・幹事会が、7月14日、東京霞ヶ関三井クラブにて開催されました。羽鳥光俊運営委員長長の挨拶、新運営委員・新幹事の紹介のあと、フォーラムの2003年度活動報告、2004年度活動計画の審議、フォーラム細則の改定の審議が行われ、提案内容

がすべて承認されました。途中、東京大学教授 青山友紀様より、当フォーラムに関連するデジタルシネマ等の外部の動きの紹介がありました。

2004年度の活動計画については、各分科会の主査からの説明に対して、活動の進め方、テストベッドの活用について活発な意見の交換が行われました。



羽鳥運営委員長長の挨拶

平成16年度情報通信月間参加行事

## ● 第2回 YRP ユビキタス通信テストベッド ● シンポジウムの開催

第2回 YRP ユビキタス通信テストベッドシンポジウムが、YRP 研究開発推進協会及び独立行政法人情報通信研究機構、(株)横須賀テレコムリサーチパークの主催により、6月25日にYRPホールで行われました。情報通信研究機構 原田博司様より「YRPテストネットフォーラムの活動について」と題してアプリケーション分科会の活動の紹介、NTT未来ねっと研究所

山口高弘様より「超高精細(800万画素)デジタルシネマの紹介」と題して、新装されたYRPホールの300インチスクリーンを使ったプレゼンテーションとデジタルシネマのデモンストレーション、東京大学教授 青山友紀様より「ユビキタスネットワーク技術の研究開発について」と題して最近の研究開発の状況の講演が行われ、100名の参加がありました。



YRPホールに新設された、300インチスクリーンを使用した講演

平成16年度情報通信月間参加行事

## ● YRP 技術セミナー「携帯受信端末向け地上 ● デジタルTV放送の動向について」を開催

YRP 研究開発推進協会及び独立行政法人情報通信研究機構は、携帯受信端末向け1セグメント放送に関する技術動向及びそのアプリケーションに関する期待等について紹介し、「通信技術と放送技術の融合」に関連する研究開発に役立ていただくために「携帯受信端末向け地上デジタルTV放送の動向について」と題するYRP技術セミナーを、6月29日に開催しました。

「地上デジタル放送の現状」について総務省情報通信政策局放送技術課課長補佐 中井克紀様から、「NHKにおける地上デジタル放送携帯端末向けサービ

スの開発」についてNHK放送技術研究所次長 久保田 啓一様から、「情報通信研究機構における研究開発」について独立行政法人情報通信研究機構 横須賀無線通信研究センター長 若菜 弘充様から、「地上デジタル1セグ放送への期待と課題」について(株)東京放送 理事 メディア推進局デジタル放送企画部長 稲葉 悠様から、「DoCoMoにおける地上デジタル放送への取り組みと期待」について(株)NTTドコモMM事業本部エマージングビジネス部B&C担当部長 石川 昌行様から、「KDDIにおける地上デジタル放送への取り組み」について



総務省情報通信政策局放送技術課 課長補佐 中井克紀様による講演

KDDI(株)技術開発本部メディア技術開発部長 中村 博行様から講演が行われました。携帯受信端末向け地上デジタルTV放送への関心が高く、180名の参加があり熱心に聴講されていました。

# 東京大学 坂村健教授による YRP情報通信技術研修 特別講演会 開催

7月16日、東京大学 坂村健教授によるYRP情報通信技術研修特別講演会「TRONとユビキタス・コンピューティング」が開催されました。実際に小型チップを埋め込んだ薬箱に、ユビキタスコミュニケーションという読み取り機を使って薬箱のチップの情報を読み込み、薬の種類や有効期限、また他の薬との同時服用が可能かどうかをコミュニケーションが通知するデモが披露されました。

また、新たに始まる「自律的移動支援

プロジェクト」についても述べられました。このプロジェクトは「あらゆる空間や場所に情報をつけること」であり、「ユビキタス場所情報システム」という情報基盤を実現し、個人で移動することが困難な障害者の方や高齢者の方などが自律的に移動できるようになることを主たる目的としています。さらに、「これは障害者支援のための特別なものではなく、ユニバーサルデザインのコンセプトの下、汎用的なものとして確立することをめざ



坂村教授による講演

している」という説明もありました。

最後に、コンピュータが人間の生活空間の状況を自動認識してくれることがユビキタス・コンピューティングの本質であり、これからもユビキタス社会の実現に向けて貢献を続けたいと熱い思いを語っていただき、講演は締めくくられました。

## 「YRP情報通信 技術研修」を開催

皆様のご参加を  
大募集

(株)横須賀テレコムリサーチパークでは、情報通信技術開発に関わる研究者のスキルアップを支援する事業として、「YRP情報通信技術研修」を本年度開講する運びとなりました。本研修事業は、今年8月からスタートし来年5月まで、19講座を用意しております。

講師陣には技術分野毎の第一人者の先生方を全国の大学から招聘しております。

また、各先生方に、この研修のためにオ

リジナルのシラバスを作成していただき、情報通信関連の基礎理論に関して系統的かつ網羅的なプログラムとなっております。

さらに、受講者との対話を重視したセミナー形式を採用する等工夫を凝らした内容をご提供し、受講者の皆様にとって実り多い研修サービスの実現を目指しております。

是非、多くの皆様方が、この企画にご賛同され、受講されますことを心よりお待ちしております。

開催月	開催日	研修期間	担当講師(敬称略)及び講座名
2004年 7月	7月16日(金)	1日	坂村 健(東京大学) 「TRONとユビキタス・コンピューティング」
2004年 8月	8月27日(金)	1日	中嶋 信生(電気通信大学) 「移動通信システム概論」 河野 隆二(横浜国立大学) 「移動通信コア技術の本質-CDMA・UWB通信システムソフトウェア無線」
2004年 9月	9月7日(火)~8日(水)	2日	菊間 信良(名古屋工業大学) 「アダプティブアンテナ」
	9月13日(月)~14日(火)	2日	唐沢 好男(電気通信大学) 「電波伝播」
2004年10月	10月7日(木)	1日	中嶋 信生(電気通信大学) 「無線回線設計」
	10月14日(木)~15日(金)	2日	相田 仁(東京大学) 「固定通信ネットワーク」
	10月25日(月)~26日(火)	2日	安達 文幸(東北大学) 「多元接続方式」
2004年11月	11月17日(水)~18日(木)	2日	服部 武(上智大学) 「制御方式とマックプロトコル」
	11月22日(月)・29日(月)	2日	仙石 正和(新潟大学) 「チャンネル割当てとトラフィック論」
2004年12月	12月9日(木)~10日(金)	2日	三瓶 政一(大阪大学) 「適応フィルタ論」
	12月21日(火)~22日(水)	2日	荒木 純道(東京工業大学) 「MIMO」
2005年 1月	1月13日(木)~14日(金)	2日	鈴木 博(東京工業大学) 「無線基礎理論のための数学」
	1月20日(木)~21日(金)	2日	鈴木 博(東京工業大学) 「変復調」
2005年 2月	2月17日(木)	1日	森川 博之(東京大学) 「将来ネットワーク」
	2月24日(木)~25日(金)	2日	井坂 元彦(関西学院大学) 「誤り訂正符号の理論」
2005年 3月	3月3日(木)~4日(金)	2日	野島 俊雄(北海道大学) 「無線回路・装置」
	3月24日(木)~25日(金)	2日	井坂 元彦(関西学院大学) 「暗号と情報セキュリティ」
2005年 4月	4月20日(水)~21日(木)	2日	澤谷 邦男(東北大学) 「アンテナ」
2005年 5月	5月12日(木)~13日(金)	2日	相田 仁(東京大学) 「インターネット」
	5月24日(火)~25日(水)	2日	服部 武(上智大学) 「移動通信ネットワーク」

詳細については [http://www.yrp.co.jp/company/service/annual\\_skd.html](http://www.yrp.co.jp/company/service/annual_skd.html) をご覧いただくか、(株)横須賀テレコムリサーチパーク 佐藤 (046-847-5000) までご連絡下さい。



# 「よこすか未来創成型IT人材育成セミナー」開催のお知らせ

詳細とお申し込みは  
<http://www.yrp.co.jp/company/service/kensyu.html>  
 をご覧下さい。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

個人情報保護法が2005年4月1日より全面施行となります。これに伴い、個人情報データベース等の情報資産の適正かつ安全な管理がより義務付けられることとなります。その対応には、最新のデータベース、情報セキュリティなどの高度なITスキルをもった人材が必要とされ、全面施行を控え、こうしたこれら人材の育成が急務となっております。このような必要性を踏まえ、(株)横須賀テレコムリサーチパークでは、「オラクルマスター10gコース」を開催いたします。

## YRPユビキタス・ネットワーキング研究所よりお知らせ〔第6回〕

### 【自律的移動支援プロジェクト】始まる

体の不自由な人や高齢者に対するバリアフリーの考え方をさらに進め、子供や健常者、外国人などすべての人が暮らしやすい「ユニバーサル社会」を目指した、国土交通省の【自律的移動支援プロジェクト】が産学官連携により始まりました。これまで場所や地域によってまちまちだったバリアフリー化を、例えば個別の建物や主要駅周辺だけでなく街全体に広げ、年齢や国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が便益を得られる街づくりを全国展開していきます。なお、今年度は神戸三宮にて、開発したシステムを用いて実証実験を行う予定です。

そのなかで当研究所は、情報技術（IT）を



デモンストレーションを視察される石原国土交通大臣御一行様

活用した新たな情報インフラ整備を進める推進役を担っております。

6月8日には、石原伸晃国土交通大臣をはじめ佐藤茂樹国土交通大臣政務官、野田聖子衆議院議員、小西理総務大臣政務官、有村治子参議院議員、江田康幸経済産業大臣政務官のご一行様が当研究所をデモ視察に訪れました。

## YRPソフトボール大会

### ●盛況のうちに閉幕●

第6回YRPソフトボール大会が6月17日に閉幕しました。参加16チームの

うち優勝は、C企部（NTTサイバーコミュニケーション総合研究所）が勝ち取りました。C企部



優勝したC企部の皆さん

は第1回大会から参戦しており優勝は今回初。喜びもひとしおのようでした。

## イベント報告

## ● YRP 夏の風物詩 ● YRP夏祭りが開催

7月30日、YRP夏祭りが開催されました。バンド演奏やフラメンコのステージに拍手が送られ、各企業

より協賛いただいた豪華賞品の当たる抽選会では、抽選のたびに歓喜の音が沸きあがっていました。



Pasion Andaluzaによる情熱的なフラメンコのステージ

# YRPホールリニューアルならびに YRPセンター1番館施設利用のご案内

YRPホールでは、近年、パソコンによる映像・音声を駆使した発表や講演が増えており、今後もマルチスクリーンによる講演や外部会場と映像のやりとりをするイベントが増加することが予測されます。このため、イベント主催者から寄せられる要望に応えられるように改修を行いました。



新設された300インチの大スクリーン

YRPセンター1番館の利用施設概要

名称	面積	形式・仕様
YRPホール	400	シアター形式／320人、スクール形式／146人
会議室1	178	スクール形式／65人、会議室の分割使用可能
会議室2	37	スクール形式／16人
会議室4	31	ミーティングテーブル／12人
電波暗室A	—	シールド性能：主な帯域で100dB以上、 W4.8×L11.1×H4.5m
電波暗室B	—	シールド性能：主な帯域で100dB以上、 W11.1×L16.5×H11.0m
屋外キュービクル	—	YRP研究開発推進協会会員限定の実験施設

## ■ステージ・照明設備の充実

イベントをスムーズに演出するためにステージ（間口10m、奥行き6m、高さ0.5m）と舞台袖を設置。ピンスポット照明等の設置によりステージの照明効果を向上

## ■ホール音響の充実

音響重視のイベントにも対応できる重低音スピーカーシステムを新たに採用

## ■映像機器設備の充実

大画像や多映像によるイベント演出に対応できるよう従来の150インチプロジェクターに加え、シネサイズ300インチ大型スクリーン、100インチスクリーン3面を新設

## ■映像・音響機器設備

各種イベントに対応できるよう外部との映像・音響のやりとりや機器の追加が可能な映像機器・音響機器システムに一新

## ■その他

ステージの上、左右ステージ袖に吊りバトンを設置し、看板などの設営がフレキシブルに行えるようホール機能を充実

なお、YRPセンター1番館には、YRPホールの他にも左表のような有料の会議室及び研究・実験用施設がございます。ぜひご利用下さい。詳細仕様、利用料金、利用申込などにつきましては、YRPのホームページ（URL：<http://www.yrp.co.jp/company/service/index.html>）に詳しく掲載されておりますのでそちらをご覧ください。か、（株）横須賀テレコムリサーチパーク（046-847-5000）までお問合せ下さい。

## 開催予告

### 第5回ミリ波ワークショップ

10月15日、午後1時半（予定）よりYRPホール（YRPセンター1番館）において、第5回ミリ波ワークショップが開催されます。本ワークショップは毎年10月にYRPで開催されており、最新のミリ波システム技術に関する報告が行われてきました。今年度は、ミリ波アクセスシステムを中心とした技術発表とともに、独立行政法人情報通信研究機構

によるミリ波アクセスシステムでのデモンストレーションも行われる予定です。本ワークショップは、TSMW委員会、電気学会ミリ波技術を用いたシステムの高機能化とその展開調査専門委員会、情報通信研究機構及びYRP研究開発推進協会の主催により開催されます。

### ミリ波国際会議

#### （MINT-MIS2005/TSMW2005）開催

第6回MINTミリ波国際会議（MINT-MIS2005）と第7回ミリ波国際会議（TSMW2005）が、2005年2月24日及び25日の2日間、韓国・ソウルのソフィテル・アンパサダーにて開催されます。この国際会議は、YRP研究開発推進協会・独立行政法人情報通信研究機構・韓国Millimeter-

wave Innovation Technology Research Center・Korea Science and Engineering Foundationの共催によるものです。詳しくは、<http://www.genipco.com/mint-mis2005> をご覧下さい。

#### 【編集・発行】

YRP研究開発推進協会

〒239-0847

横須賀市光の丘3-4 TEL：046-847-5008 FAX：046-847-5010

（株）横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847

横須賀市光の丘3-4 TEL：046-847-5000 FAX：046-847-5010